

勝浦市 学校給食共同調理場

千葉県勝浦市

【贈呈理由】エコキュートの導入による、大幅な省エネを実現



勝浦市学校給食共同調理場

勝浦市は、千葉県の南東部、都心から約75km圏内に位置し、鶴原理想郷などの景勝地や海水浴場など、豊かな自然環境を有する首都圏有数のリゾート地として年間150万人を超える観光客が訪れている。

1973(昭和48)年に運用開始した共同調理場は建設後40年を経過し、建物や設備の老朽化がすすんだことから、2011(平成23)年度に策定された「勝浦市総合計画」前期基本計画、第1次実施計画にて改築事業をすすめた。

HACCPの概念に基づく、オール電化厨房を採用

建設にあたっては、HACCPの理念に対応した施設として、安全・衛生管理を徹底し、汚染・非汚染エリアを明確に分ける衛生区画の明確化を図るとともに、調理場全体の温度・湿度を管理できるドライ方式(オール電化厨房)を採用した。

同施設の日あたりの最大提供食数は1,700食であり、7小学校、3中学校、1幼稚園、3保育所に給食提供を行っている。

業務用エコキュート採用で、地球環境にやさしい食育拠点に

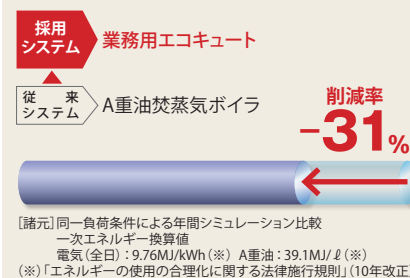
給湯設備については、省エネ性、環境性、LCC(ライフサイクルコスト)を評価し、割安な夜間電力を活用できる業務用エコキュートを採用。貯湯タンクの容量を一日の使用湯量として計画することで、災害時におけるライフラインを確保する二次的な役割も期待されている。

あわせて、トップライトの設置やLED照明、インバータ制御の高効率空調機を採用することにより、地球環境にやさしい「食育」拠点を実現している。



業務用エコキュート

一次エネルギー消費量削減効果



勝浦市学校給食共同調理場

勝浦市学校給食共同調理場

所在地: 千葉県勝浦市新戸270-2
建築設計: (株) 豊建築事務所
建築施工: (株) イズミ・コンストラクション
延床面積: 1,138.56㎡
竣工: 2014年(新設)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 120kW×1台[昭和鉄工]
貯湯槽: 12㎡